

【10】 出家の月・日

[1] はじめに仏伝経典資料を紹介する。

[1-1] 「4月15日」とする。

①Nidānakathā；菩薩は手中にある轉輪王の位を棄てて (cakkavattirajjaṃ chaḍḍetvā)、
アーサール八月の満月のアーサールハの星祭りの最後の夜 (āsāḥhipuṇṇmāya uttarā-
sāḥhanakkhatte 4月15日) に出家された (nikkhamitvā)。Jātaka vol. I p.063

[1-2] 「4月8日」とする。

①太子瑞応本起経 卷上；至年十九、四月八日夜、……踰出宮城。大正03 p.475中

②修行本起経 卷下；至年十九、四月七日、誓欲出家、至夜半後、明星出時、……於是
城門自然便開、出門飛去。大正03 p.467下 (「明星出時」とするので、4月8日になっ
てからと解釈した)

[1-3] 「2月8日」とする。

①過去現在因果経 卷2；爾時太子心自念言、我年已至一十有九、今是二月、復是七日、
宜応方便思求出家。大正03 p.632中

[2] その他のインド撰述資料を紹介する。「2月8日」とする。

①大般涅槃経 (40巻本) 卷30；如來初生出家成道轉妙法輪皆以(2月) 八日。大
正12 p.545上

②大般涅槃経 (36巻本) 卷28；如來初生出家成道轉妙法輪皆以(2月) 八日。大
正12 p.790下

[3] 中国撰述文献を紹介する。

[3-1] 「2月8日」とするもの。

①釈迦譜；年至十九……年已至十九……二月七日。大正50 p.023下、024上

②釈迦氏譜；因果云、我年十九今二月七日出家時至。……見明相出光照十方、太子即師
子吼言、過去諸仏出家亦然。大正50 p.091上

③仏祖統紀 卷2；五十年戊寅太子年二十五歳……二月七日。大正49 p.144上

[3-2] 「3月8日」あるいは「3月15日」とするもの。

①大唐西域記 卷6；踰城出家時亦不定、或云菩薩年十九、或曰二十九。以吠舍佉月後
半八日踰城出家。当此三月八日。或云以吠舍佉月後半十五日、当此三月十五日。大正
51 p.903上

ただしこれは通常は2月に相当する。

[3-3] 「4月8日」とするもの。

①歴代三宝紀 卷1；(僖王) 八年壬子年十九四月八日夜半踰城出家。大正49 p.023
中

②唐護法沙門法琳別伝 卷中；昭王四十二年壬申之歳四月八日夜半踰城出家、故瑞応経
云、太子十九四月八日夜半……。大正50 p.207中